Nagasaki Institute of Applied Science

2008
MAY

学　報

No.91

編集・発行：入試広報課

建学の精神

「自律自彊」
「実学実践」
「創意創新」
「宇内和親」

大学の理念

『人類愛の存するところ
技術への愛もまた存する』

桜が満開の人間環境学部校舎（2003年長崎市都市景観賞「建築リニューアル賞」受賞）

特集

- アドミッションポリシー
- NEW FACE
- 卒業
- 「時代をかける」「地域に根ざした」研究

Next Door.

長崎総合科学大学

URL http://nias.jp/

長崎総合科学大学 アドミッションポリシー

西洋の国々に、いち早く交流の窓を開いた長崎。この長崎の街に私たちの長崎総合科学大学はあります。私たちは、「自己の確立」「ものづくりと実行力」「新技術の開発力」「世界的視野の保持」を建学の精神として、時代と社会の要請に応え、大学として果たすべき役割を担ってきました。しかし、今日にあっては、豊かさの享受の対価として、地球規模での環境問題やエネルギー問題、情報の氾濫、格差社会の拡大など難しい対応を迫られています。

本学は、こうした今日的な諸課題に取り組み、「技術」「情報」「環境」をキーワードに、基礎学力のさらなる充実と多面的な展開を図り、これまで培ってきた大学力の向上と発展をめざします。また大学が、地域との連携をとおして評価され、持続可能な地域社会づくりに貢献できるよう努めていきます。

そのために、本学は次のような学生を求めます。

1　知的好奇心が旺盛で、自ら課題を見つけ、チャレンジする人
2　特定の教科や分野に優れ、それを本学で発揮しようとする人
3　高い志を持ち、社会性が豊かで本学で学ぶ意欲を明確に持つ人

工学部

工学部は、人類社会に共通の人間的諸価値を追求して工学的に実現するとともに、持続可能な循環型社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とします。

そのために、本学部は次のような学生を求めます。

1　知的好奇心が旺盛で、自ら工学的課題を見つけチャレンジする人
2　ものづくりが好きで、科学技術に興味をもち、本学部でさらに能力を向上させようとする人
3　高い志を持ち、ものづくりの専門知識を活かして社会に貢献したい人

Ⅰ 船舶工学科

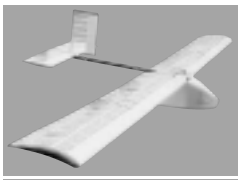
船舶工学科は、船と海に関する専門知識を学ぶことによって、優れた船舶を設計建造できる技術者や海洋の環境を保全し活用する優れた専門家を育成することを目的とします。

そのために、本学科は次のような学生を求めます。

1　船や海の好きな人
2　学んだ専門知識を通じて国際的に貢献したいと考える主体的な学習意欲を持った人

Ⅱ 機械工学科

機械工学科は、製造業を中心に、現代社会に役立つものづくりに貢献できる技術者を育成することを目的とします。



そのために、本学科は次のような学生を求めます。

1　機械やメカニズムが好きで、能力をさらに伸ばしたい人
2　環境に優しいものづくりを通して、世の中のためになることをしたい人

Ⅲ 電気電子工学科

電気電子工学科は、専門的能力をもって社会に貢献できる電気・電子技術者並びに医療電子技術に関する専門家を育成します。

そのために、本学科は次のような学生を求めます。

1　電気工学、電子工学、臨床工学を学ぶための基礎教科の基礎学力がある人
2　広範囲な事象に対して強い好奇心を持ち、電気・電子技術並びに医療電子技術を活用して社会に貢献したいと強く希望する人

Ⅳ 建築学科

建築学科は、人間の諸活動を支える住居、建築、都市空間を創造し、安全で文化的な社会環境づくりに貢献する人材を育成します。

そのために、本学科は次のような学生を求めます。

1　基礎的学力をもち、建築や住まいに興味と関心が高い人
2　チャレンジ精神旺盛で、専門的感性や知識を求め、コミュニケーション能力を高めたい人

情報学部

情報学部は、多様な立場から情報技術を活用できるとともに、学際的見地から情報と既存システムの融合を図り、高度情報化社会の要請に柔軟に対応しうる人材を育成することを目的とします。

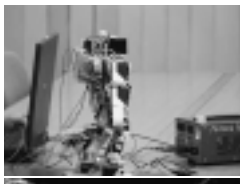
そのために、本学部は次のような学生を求めます。

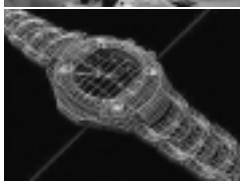
1　情報技術の習得をめざす強い意志を持つ人
2　基礎学力を大切にし、自らの能力を伸ばそうとする人
3　課題を発見し、その解決に向って努力する人

Ⅰ 知能情報学科

知能情報学科は、情報通信技術を活用して、より高度なシステムの開発、人間と機械の融合及びコミュニケーションの円滑化を実現できる情報技術者を育成することを目的とします。

そのために、本学科は次のよ





うな学生を求めます。

1　人間の知能や心に関心があり、新しいコンピュータやロボットの創造に夢を持っている人

2　情報技術の活用とともに、感性と想像力を活かした情報のデザインをめざす人

Ⅱ　経営情報学科

経営情報学科は、企業活動全体を支援することができる確かな情報技術を身につけた経営管理者を育成することを目的とします。

そのために、本学科は次のような学生を求めます。

1　企業や経営への関心があり、企業や経営について、深く学びたいという意欲を持っている人

2　情報技術を学ぶとともに、情報技術の経営への活用をめざす人

人間環境学部

人間環境学部は、人間と環境の持続可能な共生をめざし、循環型環境社会に寄与できる高い環境意識と応用技術をもった人材の育成を学部の理念としています。その実現に向けて、従来の特化した専門領域にこだわることなく、環境と文化の相互関係を文理両面から幅広く総合的に探求し、環境への責任を担いうる人格と環境問題の実践的解決能力を有する人材の育成をめざしています。

そのために、人間環境学部は次のような学生を求めます。

1　文系分野、又は理系分野に関する基礎的学力を有し、自主的かつ主体的な学習態度を有する人

2　環境分野に関する強い関心と学習意欲を持ち、自ら環境問題を発見・解決する意欲のある人

3　環境に関する知識・技術を修得し、将来、社会貢献に寄与したいと考えている人

別科日本語研修課程

別科日本語研修課程は、日本の大学に入学を希望する外国人に学部課程を履修するために必要な日本語を教授し、あわせて全般的な基礎学力の向上をはかることを目的とします。

そのために、別科は次のような留学生を求めます。

1　日本での進学や研究を目的とし、日本文化理解への意欲溢れる人

2　異文化における生活・勉学体験を通し、国際交流に貢献したいと希望する人

各学科の学びのポイント

情報学部　知能情報学科

- Point 1　情報をデザインしよう！プログラミングを基礎とする情報技術を学び未来をつくる。
- Point 2　人間の感性の仕組みや知識を学び、それをデジタルコンテンツやロボットとして具現化する。
- Point 3　電子機器の頭脳となるアナログ・デジタル混載 LSI（大規模集積回路）設計技術を学ぶ。

情報学部　経営情報学科

- Point 1　「企業」における経営管理の方法とともに、情報技術の活用について学ぶ。
- Point 2　「起業」を目指す人にとって必要な経営や金融・法律に関する知識を身につける。
- Point 3　「基業」の重要な柱である Web やデータベース等の情報技術を学ぶ。

工学部　電気電子工学科

・医療電子コース

- Point 1　モノを動かすエネルギーとしての電気を幅広く学び、次世代エネルギーの開発を目指す。
- Point 2　コンピュータ社会を担う電子をソフト面・ハード面から考え、高度情報化社会を支える技術を学ぶ。
- Point 3　工学的知識と医学的知識を学び、高度化した医療機器を扱う医療従事者を目指す。

工学部　船舶工学科

・造船技術コース・海洋フロンティアコース

- Point 1　興味とものづくりの感動を得ながら、船舶がどのように造られるかを学ぶ。
- Point 2　船づくりのための基礎知識からステップして専門知識まで学ぶ。
- Point 3　海と船と人間の関わりを通して、居住空間・海洋空間をデザインする。

人間環境学部　環境文化学科

・地域学コース

- Point 1　環境を様々な分野から総合的に文系・理系両面から学んでいく。
- Point 2　フィールドワークやケーススタディなど実践的な活動により問題解決能力を身につける。
- Point 3　プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につける。

工学部　建築学科

・住居学コース

- Point 1　構造・室内空間等を工学的に解明し、都市計画等のデザイン的側面までトータルに学ぶ。
- Point 2　現代的建築物から歴史的建造物を調査・研究し、クリエイティブな感性を養う。
- Point 3　住居の歴史や計画・設計、インテリアデザイン、住宅問題と住宅政策等を体系的に学ぶ。

工学部　機械工学科

- Point 1　実験を通して、材料・機械・流体・熱力学など機械工学に不可欠な基礎知識を学ぶ。
- Point 2　４力学の基礎知識をもとに高度な機械技術を修得し、メカトロニクスの領域まで学ぶ。
- Point 3　メカフォーラムの授業によるものづくりを体験し、工学の基礎を確かなものとする。

NEW FACE

■入学式

4月3日、本学体育館で2008年度長崎総合科学大学入学式が挙行された。キャンパスの桜が満開の中、新たな学生を迎えた。

林一馬学長が大学院工学研究科博士課程3名、同修士課程19名、学部232名、別科日本語研修課程19名の入学を許可した。

入学生を代表して、大学院工学研究科修士課程環境計画学専攻の早川直毅さん、人間環境学部環境文化学科の桃原　笑さん、留学生を代表して情報学部経営情報学科のThant Zin Winさん

■新任教職員の紹介

今年の4月、本学に新たにスタッフとして加わった教職員を紹介します。

この他、教員配置がありましたので報告いたします。

【4月1日付】

□小嶺　忠敏
教職課程・特任教授

□花岡　哲
教職課程・特任教授
（入試統括部長）

見方

①名前
②所属・職名
③趣味
④抱負など一言

①藤澤雄一郎（フジサワユウイチロウ）
②情報学部
経営情報学科
特任教授

③男性合唱、ギター、川柳、スケッチ、けん玉、テニス他

④『若い人達と将来の夢を語れる事が楽しみです。経営とは、人間を追及することだと考えています。人は、その時その時、様々の意思決定をします。講堂前に「三本の樹」、切り倒すことなく遺そうと決めた人の思いは何だったのでしょうか？』

①大場　和彦（オオバ　カズヒコ）
②人間環境学部
環境文化学科
教授
博士（農学）

③テニス・読書・ドライブ等

④『新任の教官ですが、学生とともに野外研究と作物栽培の実習をしながら研究を進めたいと考えていますので、よろしくお願いします。』

入学式の際、サークルPR①

①山田　聖剛（ヤマダ　セイゴウ）
②工学部
共通教育センター
准教授

③ベースボール、剣道、居合道、冗談を考えること

④『本学学生の英会話力を、県内の大学で一番にしたい。「行列のできる研究室」と言われるように質問や相談で訪れる学生や地域、行政、企業、英語教育関係者でごったがえすような研究室にしたい』

①崔　智英（チェ　ジヨン）
②情報学部
知能情報学科
講師
博士（芸術工学）

③水泳、ゲーム

④『3次元CGによる伝統芸能のデジタルアーカイブ化などについて研究を行っています。長崎には様々な伝統文化が残っているので、学生の皆さんと共に元気よく楽しく、文化的な価値のある「情報・ものづくり」の活動をして行きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。』

①髙森　良知（タカモリ　ヨシノリ）
②工学部
電気電子工学科
助教

④最近の医療業界での動向の中で病院内での責任の所在の明確さとリスクマネージメントが取りざたされています。特に臨床工学技士は医療機器の操作及びメンテナンスの面で病院内でリスクを軽減する上で非常に重要なポジションであり、今後益々需要は高まっていくと思われます。こうした中、最低限必要な知識と最大限の効果をもたらす知識の構築に重きを置きたいと思います。

①陶山　裕樹（スヤマ　ヒロキ）
②工学部
建築学科
助教

③登山、球を使わない競技

④『現在、日本の建築構造は木造、鉄骨造、RC造が主流です。これに対して、私の研究室では新しい建築構造を開発し、それが生み出す空間を社会に提案したいと考えています。若い学生たちの発想を楽しみにしています。』

①宮副　文雄（ミヤゾエ　フミオ）
②工学部
電気電子工学科
助手

③マラソン・旅行・映画鑑賞・スキー

④『工業高校で培った技能・技術を若者に伝継して行きたい。よろしくお願いします。』

入学式の際、サークルPR②

が挨拶し、情報学部知能情報学科の岩永拓真さんが「本日、私達は長い歴史と自然に満ち溢れた長崎総合科学大学に入学を許可されました。新入生一同心より感謝申し上げます。私達新入生は、諸先生方、先輩方からの教えを自分の力に変え、また友人との出会いにより成長し、社会に貢献できる人になることを目指します。そのために日々全てのことに真摯に取り組み、知恵を磨き、技術を身につけて向上していくことを誓います。」と宣誓した。

翌４日からは、共通教育センターの英語のプレスメントテストや、保健センターのＧＨＱ問診票・エイズ講話、事務局などのオリエンテーションと、「交通講話」「消費者教育講座」「ごみ問題に関する講座」が行われ、大学生としての一歩を踏み出した。

入学式の際、サークルＰＲ③

③読書・音楽鑑賞

④『一人一人の生徒のために一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。』

①野口（ノグチ）　千香（チカ）
②附属高等学校
常勤講師

③散歩・映画鑑賞

④『夢を持ってチャレンジしていくこと。目標を持って立ち向かう姿勢を貫いて行きたいと思います。そして、実現できるように…。生徒と共に一歩一歩前進して行きたいですね。』

①定方（サダカタ）　敏和（トシカズ）
②附属高等学校
教諭

本学史上初!!
学生自治会に女性執行委員長が誕生！

執行委員のメンバー

委員長：林田　侑子さん（写真左下）
（工学部建築学科３年生）

会　計：若杉　紫織さん（写真右上）
（工学部建築学科３年生）

書　記：吉村真奈美さん（写真左上）
（工学部建築学科３年生）

学　友：成田　　愛さん（写真右下）
（工学部建築学科３年生）

学生自治会執行委員新旧交代式

**学生自治会では
メンバー募集中
です！**

**史上初の
女性執行委員長に
就任した林田侑子さん**

「笑顔の集まる大学へ。。。
皆さん応援して下さいね
（^o^）／」

昨年12月に行われた学生自治会新旧交代式において、本学史上初の女性執行委員長が誕生しました。高校には「生徒会」がありますが、大学の学生自治会は、それとは少々性格が異なり、もっと個人の自主性、自由が尊重され、また個人の創造、工夫、エネルギーが生かされる場です。執行委員会は学生自治会を代表してその会務を行います。

今回、執行委員長となった林田侑子さん（工学部建築学科住居学コース３年生、長崎商業高校出身）に今後の抱負などインタビューしました。

学生自治会は、執行委員会役員が中心となって活動しますが、全学生の関心と協力が必要となります。どのような行事を行うにしても執行委員会役員だけではできるものではありません。みんなが一致団結してこそ学園行事は円滑に行われ、盛大なものになるのです。笑顔で頑張る彼女たちを大学みんなでサポートしていきましょう!!

特別インタビュー
林田侑子学生自治会執行委員長
「笑顔が集まる大学へ」

Q．長崎総合科学大学（NiAS）はどんなところですか？

A．自由なところですかね。また、男女がとても仲良しな大学だなと感じます。いろんな意味で勉強しやすい環境がとても整っていると思います。

Q．執行委員長としてどんな大学にしていきたいですか？

A．行事やイベントがますます盛り上がって、学生さんたちが思い出に残る楽しい大学生活が送れるような大学を目指していきたいです。
そのためにもいつも笑顔が集まる大学になれるよう、私自身が笑顔で頑張って行きたいと思っています。

Q．執行委員長としての抱負は？

A．みんなで楽しくいつでも笑顔で活動していきたいです。
個人的には人前で話すことが苦手なので克服していきたいです。
先生方ともたくさん話をしたりして、よりよい大学にしていきたいです。そのためにも、学生の皆さんひとりひとりのご協力をお願いします。

Q．本学学生の皆さんへ

A．学生自治会のメンバーは現在４名とメンバー不足に悩んでいます。
自治会に少しでも興味を持った人はぜひ一度自治会室に遊びに来てみて下さい。
みんなで楽しい大学生活を送れるように頑張っていきましょう。
もちろん、笑顔で（＾＾）v

特集

卒業

本学の大学院、工学部、人間環境学部、別科日本語研修課程の学生がそれぞれの教育課程を無事修了し、3月14日、卒業式・修了式が挙行されました。4月からは就職して社会に旅立つ者、さらに研究を深め進学する者、さまざまな旅立ちがありました。この長崎総合科学大学で学び、友と遊んだ、それらの一つ一つが糧となり、これから進む道を邁進してくれることを期待しています。彼ら、彼女らが卒業を前に学園生活を振り返り、思い出など皆さんへのメッセージをいただきました。

卒業生へのメッセージ

学長　林　一馬

今、この学園での様々な思いが去来しているのではないかと思います。あるいはこの4月から始まる新しい生活に対する期待や、場合によっては不安が頭をよぎっているかもしれません。楽しかったことや嬉しかったこと、同時に辛かったことがあったかもしれません。

4月からの門出にあたって、新しく経験される「働く」ということについてお話したいと思います。

動詞で働く、名詞で労働とか、仕事。英語では普通「work」と直ぐ頭に浮かぶと思います。しかし、同時にこれによく似た言葉に「labor」という言葉があります。これもやはり労働、仕事、働くことです。

イギリスの2大政党の労働党は「the Labour Party」といいますから、「work」と同様に有用な言葉ですが、この「labor」には辛い仕事、苦しい労働という意味が含まれているのです。

フランスの文化人類学者レヴィ・ストロースという方は「労働とは、神が人間に与えた罰である」という言い方をしています。我々日本人、あるいは東洋人には、ちょっと理解し難いところです。ですから彼らにとって労働から解放される余暇、レジャー、バカンスといったものに異様な執着を見せます。これはその事の裏返しだろうと思います。また、労働に対する賃金を求めるという概念もそこからきているのではないかと思います。

しかし、先ず人類は人間の労働を軽減するために家畜という制度を起こし、あるいは一部の人間を家畜同様に扱う奴隷という制度を起こしました。それが数千年間続いたと思います。近代社会になって家畜や奴隷を機械に置き

宮原（ミヤバラ）　康（ヤスシ）さん
①長野県
北部高校
②工学部
機械工学科
③日本コンピュータ㈱

私にとって大学生活は、涙あり、笑いあり、今考えればとても充実した大学生活を過ごすことができました。

一番の思い出といえば、ペーロンです。私は、一年生の頃からずっとペーロンをしてきました。毎日走ったり、筋トレをしたり、その時はとても辛かったけど、今振り返ると良い思い出です。

後輩の皆さんへ、友達、仲間を大切にし、大学生活を笑って元気よく過ごしましょう。

高橋（タカハシ）　雅人（マサト）さん
①兵庫県
西宮今津高校
②工学部
船舶工学科
③本学大学院研究生

私の思い出は、大学所有の船舶の整備や地域の子供達を招待してヨットでクルージングなどを行い、海に関する事を多く学ばせてもらった事です。本学で学んだ事を生かして、海の治安を守る仕事がしたいと思い、4月から本学で研究生として勉強する事を決めました。

最後に後輩の皆さんへ、就職は人生の中で大事な事です。例え難しくても、諦めずに続ける事が大切です。だから、諦めずに挑戦してください。

河野（コウノ）　泰典（ヤスノリ）さん
①愛媛県
今治東高校
②工学部
船舶工学科
③本学大学院
生産技術学専攻

大学生活での思い出は、友達が多くでき、一緒に遊び、飲み、騒いだことです。

大学院に進学することが決まっているので、大学生活で遊んだ分、大学院では勉強に専念したいと思っています。将来は、学んだことを生かして造船所で設計に就きたいと思っています。

最後に後輩の皆さんへ、何事もメリハリをつけて生活をすれば時間も有効に使え、充実した大学生活を送ることができると思います。

平田（ヒラタ）　大徳（ヒロノリ）さん
①福岡県
泰星高校
②工学部
電気電子情報工学科
③シグマトロン㈱

長崎に来てからの4年間、私の学生生活を充実させ、支えてくれていたのは、多くの「仲間」の存在でした。その「仲間」の存在で様々なことに挑戦し、乗り越えることができました。

これから社会に出ても、学生生活を支えてくれた「仲間」を大切にし、社会でも新しい「仲間」を作りたいと思います。

後輩の皆さんへ、是非、残りの学生生活で、かけがえのない「仲間」を見つけてください。

見方　①出身　②卒業学部・学科　③進路先

換え、人間はここまでやってきました。

機械文明が求めたものは、経済に基づく効率性の問題、あるいは機械の規格化、さらには製品の品質化です。その時に人間の労働は、全体を計画したり、設計したりする一部の人と、それ以外のプロセスを生産していく大半の労働者というものに分化します。そして分化はどんどん際限なく進んでいきます。

近代文明は進化しかありません。戻ることはできません。常に革新、改善、改良を要し、ますます労働に携わる者がその中の部分化、断片化、場合によっては歯車化せざるを得ません。

さらに現代社会においてはそういう工業、機械というものから情報化、高度情報化の時代に突入しています。その結果どうなるか。プロセスが不確か、見えなくなるという現象が起こってきました。皆さんが使っているコンピュータなどの機器はどの様な演算をしているかは分かりません。これまでのソロバンや筆算では計算の過程が見えました。プロセスがわかりましたが、今やそれはもう見えません。

高度化、高速化はより早くなっています。コンピュータの進歩は一年に二倍と言われ、10年後は今の約千倍の速さの技術と付き合うことになります。それは人類に多くをもたらすと同時にますます歯車化、あるいは全体が見えない恐れがあります。

21世紀はそういう時代であり、その中で皆さんがそれぞれの職業人として生きていくわけです。

そのような中で、今、手作り、手仕事ということが改めて見直され、機械によって作られた物以上の価値を認めようとしています。これらを現在の技術にどう組み込んでいくか、これが上手くいけば人間はもう一度全体と関われる労働に従事する道筋が拓けてこようかと思います。

もう一つは工業製品はいかに差別化をはかるかの重要な要目として「デザイン」が注目されています。携帯電話、車、カメラ、どれを取っても性能的に差はなく、消費者は少しでも格好の良い、身に持って恥ずかしくない、誇れる、今や性能以上にデザインが重視されています。ひょっとすると工業化、情報化社会の先に来るものではないかと思われます。

「Work」は、言葉の中に「努力する」が含まれています。その意味では「罰としての仕事」ではなく、「試練としての仕事」。製品を作るために努力し、同時に自己形成、人間形成に関わるということです。

皆さんがこれからの激動の社会に出るにあたって、このことを思い出していただければと思います。

小栗（オグリ）　徹平（テッペイ）さん

①佐賀県
武雄青陵高校
②工学部
建築学科
③㈱イチケン

大学4年間は、色々な経験ができた日々でした。学内では、4年生の前期にゼミで取り組んだ建築学会のコンペティションで皆と意見を出し合い完成までのプロセスこそが大事だということを学びました。

その他、就職活動やアルバイトなどにしても自分の動きや人との出会いによって、物事が進んでいくということを感じました。

最後に、4年間は良くも悪くも自分の活動しだいです。悔いのない4年間にしてください。

高田（タカダ）　博行（ヒロユキ）さん

①長崎県
長崎東高校
②工学部
建築学科
③㈱ニトリ

アッという間の大学生活でした。大学の4年間で沢山の人に出会い、支えられたお陰で非常に有意義な4年間を過ごすことができました。この4年間で出会った人々は僕にとって宝物です。皆さんも人との出会いを大切にして欲しいと思います。また、胸を張ってこれは頑張ったと言えるモノを見つけて欲しいです。こんなに時間を自由に使えるのも大学生の特権。勉強するなり、遊ぶなり、悔いの残らない学生生活を送ってください。

鈴谷信一郎（スズタニシンイチロウ）さん

①長崎県
長崎工業高校
②工学部
電気電子情報工学科
③五洋建設㈱

学生生活を振り返ると、短かったのですが、とても中身の濃いものだったと感じます。一年生の夏にボランティア活動に出会うキッカケがあり、なんとなく参加したことにより人生観が変化したように思います。

その後、専門性を活かし、海外でも働いてみたいという希望の基、春から社会人としての第一歩を踏み出します。いろいろありましたが、大学生になってよかったと思います。

皆さんも楽しい学生生活を送ってください。

小田崎裕子（オダザキユウコ）さん

①長崎県
長崎工業高校
②工学部
建築学科
③長崎県庁

課題などに追われ、いつの間にか卒業することになりました。建築学海外研修に参加して日本と違う文化を学び、設計課題では自由に作成することができ、建築一色で過ごしました。

4月からは社会人になり不安がないと言ったら嘘で沢山あります。しかし、これまで勉強してきたことは無駄にならないので、これからもどんどん成長していけると思います。

後輩の皆さん、努力すればいつか必ず報われます。その日を目指してこつこつ頑張ってください。

杉本祐二郎（スギモトユウジロウ）さん
①長崎県
口加高校
②工学部
機械工学科
③㈱高田工業所

大学での4年間は、入学した時は長く感じましたが、終わってみるとアッという間でした。特に4年生では卒業論文などあり、忙しく、より一層早く感じました。その中で思い出にあるのは、研究室の人達と行ったいろいろな行事です。私はあまりそういうことをしたことがなかったので楽しかったです。
学生時代は学業も大切ですが、いろいろな人と遊んだ方が良いと思います。そして充実した4年間を過ごして下さい。

崎山　直也（サキヤマ　ナオヤ）さん
①長崎県
壱岐高校
②工学部
機械工学科
③㈱アビスト

大学に入学してからの4年間は、小・中・高校生の時よりも随分と短く、そしてなにより楽しいものでした。
これから私は社会人となります。私は就職活動で割りと苦労をすることがありませんでしたが、これは早い段階から狙いを定めて行動した結果だと思います。
後輩の皆さんも、就職に限らず、遊びも含め何にでも、思いたったら即行動に移すくらいがちょうど良いのだと思います。

渡辺真理子（ワタナベマリコ）さん
①長崎県
諫早東高校
②工学部
建築学科
③㈱浜松建設

大学生活の思い出は多くの人との出会いです。それで私は造大祭実行委員に入ったり、また、建築学科での教会堂模型製作など、今まで自分にはできないだろうと考えていたことにチャレンジでき、新しい自分を発見することができました。
社会人になっても、人との出会いや関わりを大切にし、成長していきたいです。
後輩のみなさん、この大学生活4年間で新しい自分を見つけてみてはいかがですか？

中村　祥子（ナカムラ　サチコ）さん
①長崎県
西陵高校
②人間環境学部
環境文化学科
③マックスバリュ
九州㈱福岡

大学時代で力を注いだのは、弓道部とアルバイト、地域との協働活動「地域通貨」でした。振り返ってみるとアッという間に4年間が終わり、楽しく充実した日々だったと思います。部活や活動を行っていく中で人として大きく成長できたと思います。
後輩の皆さんへ、今しかない学生生活を楽しんでください。ここで得たものはこれからも役立っていくと思います。悔いの残らないように大学を仲間と一緒に楽しんでください。

佐仲　琢也（サナカ　タクヤ）さん
①長崎県
長崎南山高校
②工学部
建築学科
③㈲大和建設

4年間の大学生活は楽しく過ぎてアッという間に終わってしまいました。一番思い出に残っているのが、3年生で行った建築学海外研修でした。初めてのヨーロッパで、素晴らしい建築物を沢山見ることができ、外国の文化にも触れることができたので、とても良い経験になりました。
これからは社会に出て、大学で培った知識をフルに使って頑張りたいと思います。
後輩の皆さん、色々と頑張ってください。

小金丸大介（コガネマルダイスケ）さん
①長崎県
長崎南山高校
②工学部
経営システム工学科
③㈱長崎ケーブルメディア

私が大学で過ごした4年間はとても充実したものでした。それは、友達や先生方など多くの素敵な方たちと出会えたからです。その出会いのお陰で多くの考えに触れることができ、自分の世界が広がったと感じています。
後輩の皆さんへ、大学4年間は長いようでとても短いものです。将来のことをしっかりと考え、自分なりの目標を持って過ごしていってください。目標を持つことは、とても大事なことです。

高守（タカモリ）　桂佑（ケイスケ）さん

①長崎県
本学附属高校
②工学部
機械工学科
③㈱メモリード

大学生活での思い出は、アイスホッケーです。いつもホッケーばかりやってました。3年生でキャプテンをして、人をまとめる事の大変さを実感しました。本学からのサポートもあり、充実した部活生活が送れました。

4月からは営業マンになります。

後輩の皆さんへ何か一つでも趣味を見つけて熱中すれば、充実した大学生活が送れます。また、4年生で単位取得に追われないように3年生までに頑張って。本当に大変です……。

宮嵜友一郎（ミヤザキユウイチロウ）さん

①長崎県
創成館高校
②工学部
経営システム工学科
③越智産業㈱

私の学生生活の思い出は学生自治会活動です。私は一年生の時から体育会に入り、3年生では体育会長を務めさせていただきました。体育会では前期・後期の体育総会や年に一度の体育大会など、大変な仕事が多かったですが、友人や後輩の協力もあり、何とか成し遂げることができました。

4月からは住宅資材の卸会社で働きますが、この経験を活かし、しっかり頑張っていきたいです。後輩のみなさんも悔いの残らない、自信を持てる学生生活にしてください。

橋口（ハシグチ）　直子（ナオコ）さん

①大分県
明豊高校
②工学部
機械工学科
③神奈川県中学校
教員

長いようで短かった大学生活にも、いよいよ終止符を迎えます。将来は数学の教師になることが目標で、3年の後期からは、平日は大学に、土日は教員採用試験対策のために専門学校に通いました。大学との両立は、寂しさや孤独に負けそうになりましたが、仲間と励ましあった毎日は、これからの私の力になると思います。

春からは、夢だった教師になります。生徒たちの良き手本となる教師を目指して、これからも一生成長していきます。

鉄本（テツモト）　和樹（カズキ）さん

①沖縄県
宜野湾高校
②人間環境学部
環境文化学科
③長崎船舶装備㈱

4年間の大学生活は、私にとってとても充実したものとなりました。環境に対する意識や知識を深めることができ、沢山の素晴らしい後輩にも出会えることができました。私がどんな時でも、支え、励ましてくれた後輩たちには心から感謝しています。

後輩たちへ、残りの学生生活を充実したものにするためにも、一日一日を大切にして、多くのことを学び、様々な人と出会いながらそれを自分の成長の糧としていってください。

黄（コウ）　芳（ホウ）さん

①中国
②人間環境学部
環境文化学科
③㈱東京セントラル
バソロジーラボラ
トリー東京

私が中国から日本に来て5年が経ちました。日本では様々な文化に触れることができたばかりか、沢山の友人を作ることができました。私が日本の生活に慣れてなくて大変な時に色々支えてくれて本当に助かりました。

留学生の皆さん、生活がまだ慣れない上に色々と忙しいと思いますが、日本の文化や交流ができる機会があれば、それを見逃さずにどんどん触れていってください。人々との繋がりを持てたことは、一生の宝物です。

TEOH CHUI ING（テオ チュイン）さん

①マレーシア
②工学部
経営システム工学科
③㈱タケシマ

大学4年間は、アッという間に過ぎて行ったと感じます。最初は大学の勉強がとても不安でしたが、先生方や周りの友人が親切でいろいろなことを教えていただきました。地域の皆さんや様々な国の友達と交流することによって、異文化理解を深めることができ、充実した学生生活でした。

私は留学のお陰で、様々なことを体験できて自分に自信を持ち、これから社会人の一員として精一杯頑張っていきたいと思います。

特集

「時代をかける」「地域に根ざした」研究

船舶工学科の中尾准教授の基本設計した実験船が公開

記者へ説明する中尾准教授（左から２番目）

長崎県は「次世代エネルギーパーク構想」を掲げ、佐世保市ハウステンボスのパーク内でエネルギー供給、消費が完結する「地産地消のクローズドシステム」を構想。「大規模太陽光発電」や「ソーラーシップ」などを計画している。

この計画で「化石燃料を使用しない電気推進旅客船」と、「環境にやさしい電動小型レジャーボート（電動ミニボート）」の開発が進められ、これらの実験船の製作で本学工学部船舶工学科の中尾浩一准教授が基本設計を行った。

電気推進旅客船の実験船（ALKMAAR）はハウステンボス㈱、前畑造船㈱、長菱制御システム㈱、させぼパールシー㈱、安田産業汽船㈱、長崎県工業技術センター、長崎総合科学大学が「クリーンエナジーシップ実行化研究会」を発足させ開発にあたり、電動ミニボートはハウステンボス㈱、㈱西日本流体技研、長崎総合科学大学が開発にあたった。

実験船は3月21日にハウステンボス内ホテルデンハーグ前の船着場で報道関係者へ公開され、実際に報道関係者を乗せて、エンジン音の静かさ、二酸化炭素を排出しない従来船との違いなどを体感した。

↑電気推進旅客船の実験船（ALKMAAR）

↓　電動ミニボート

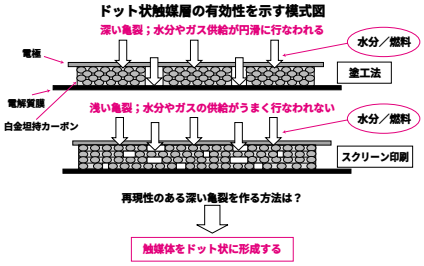
研究テーマ

「固体高分子型燃料電池用触媒層形成技術に関する研究」

阿南悠太さん
（大学院工学研究科修士課程 環境計画学専攻　本年3月修了）

修士論文発表

研究室のメンバー（写真：後列右）



Q どのような研究ですか

地球環境の保護と石油枯渇の問題から、家庭用電源、および車載用電源として急速に期待が高まる「固体分子燃料電池（PEFC）」。しかし、PEFCが高価であることや耐久性がまだ未確定であることから実用化に時間がかかっている。

この研究では、PEFCの改良に関する研究のうち、特に触媒層形成に関する研究に取り組み、触媒として使用される白金（Pt）をドット状にし、ナノカーボン混合触媒との併用とすることにより、電気的な性能を低下させることがなく、白金の使用量を0.215mg/cm²まで削減することができた。

Q 研究のキッカケ

高校生の時に「燃料電池の本」を読んだことがキッカケで、本学の工学部船舶工学科へ進学する際に、船舶への応用ができないかを構想していました。

入学後、電気電子工学科の奥村教授を紹介され、現在まで燃料電池の研究に6年間を費やしてきました。

Q この研究は今後どの様に生かされていきますか

これらの技術は現在、特許出願中です。私は4月から大分の造船所で機関艤装の仕事に就きます。このため私自信の研究はこれで最後になります。

後輩たちへは、これらの研究をもとに、長時間使用可能で、耐久性に優れた燃料電池の開発へ取り組んでもらいたいと思います。

九州水辺の映像祭で小柳さんが高原寛記念賞を受賞

映像美術作品「HeArt 2007 Nagasaki　九州水辺の映像祭」で全国から公募。99作品の応募の中から、小柳聡也さん（大学院生）が「高原寛記念賞」を受賞した。『身近な祈りというものを作りたいと思った。便利なものがさらに便利なものに取って代わる変化の激しい世の中で、長崎らしい路面電車をモチーフにした。』

出版紹介

■『リバタリアニズムと最小福祉国家制度的ミニマリズムをめざして』

橋本祐子著
（工学部 共通教育センター 准教授）

本書は単なる「小さな政府」論を超えた、人間が生きるためのミニマムな制度構想。

人間にとって必要最小限の法や制度をめざす古典的自由主義の立場から、あるべき「最小・福祉国家」を描く。

研究テーマ

■平戸島八十八ケ所順拝の調査研究

～江戸時代に制定された全島めぐりの現状～

一瀬将範さん、白石将平さん

■新たな平戸観光

～現代版平戸島八十八ケ所巡りの提案～

徳永慎二さん

■平戸島八十八ケ所順拝の特徴

～他の八十八ケ所巡拝との比較検討をとおして～

島袋祥平さん

後列左から：徳永さん、島袋さん、一瀬さん、白石さん
前列左から：木村さん、山田先生

Q. どのような研究ですか

「平戸島八十八ケ所順拝」についてはあまり知られていないが、第10代平戸藩主松浦熙公が制定したもので、今回の調査で各札所の現状を明らかにし、他の八十八ケ所との比較や現代版の「平戸島八十八ケ所順拝」の提案を行いました。

番外を入れて89ケ所があり、平戸城下から平戸島の海岸を時計回りに巡りながら平戸城下へ戻る。現在までに合祀された札所もあり、現存するのは78ケ所。

札所には目印として「何番目か」「次への距離」「寄進者」を示す石柱が建てられていました。

熙公は単に順拝を制定するだけではなく、実際に参詣できるようにルートや札所を整備し、札所は景色の良い場所が多く、景色を見てもらう観光目的で制定したのではないかとも考えている。

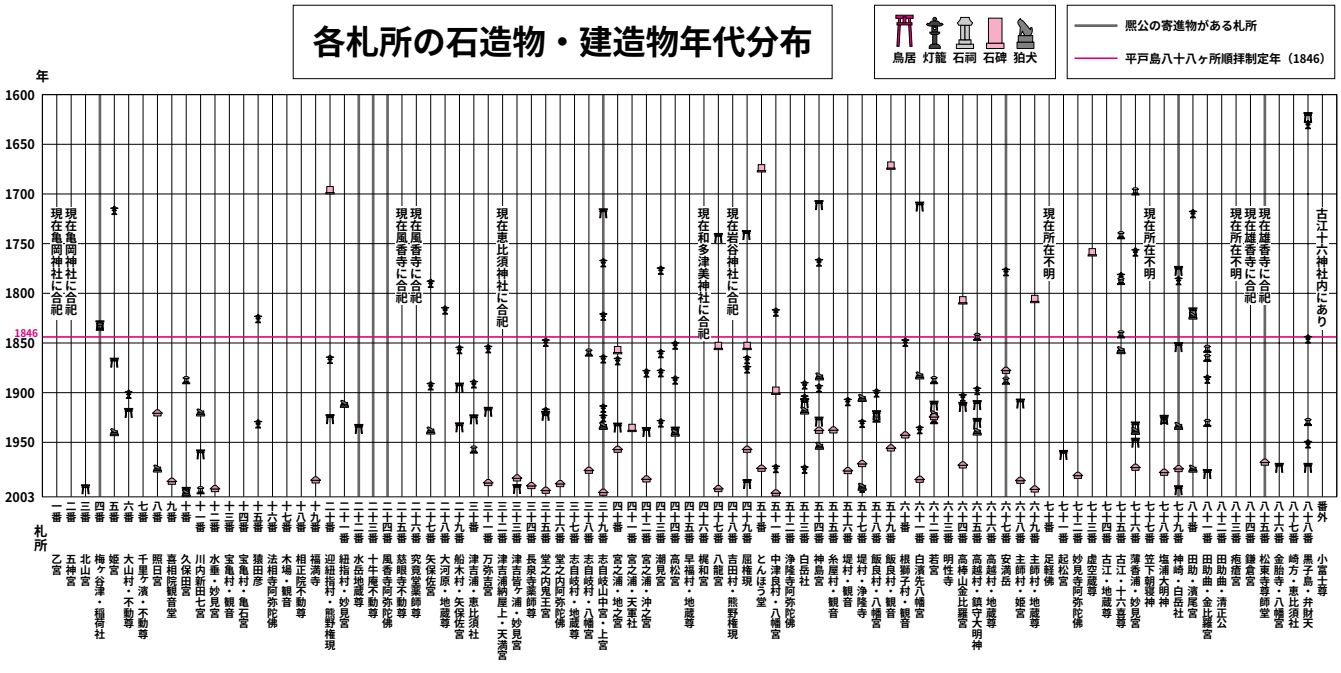
Q. 研究のキッカケ

指導された山田由香里先生が以前平戸市役所に勤められていたこともあり、平戸商工会議所から依頼を受けて調査研究を始めました。

山田先生の運転で実際に札所に訪れ、番外を含む89ケ所の配置図、平面図をスケッチして、大学でCADを使って図面化し、各札所の石造物・建造物を年代別に分布化しました。（下図）

Q. この研究は今後どの様に生かされていきますか

「平戸島八十八ケ所順拝」が制定された江戸時代後期『旅』は娯楽であり楽しみでした。藩主松浦熙公が制定にあたり、平戸島の寺社を巡りながら、島内の自然景観や歴史史跡をくまなく見るように意図したことが今回の調査でうかがえました。今回の調査をもとに制定後の平戸の歴史を新しい札所として「現代版　平戸島八十八ケ所巡り」プランを、平戸の全島観光の一つとして提案。また、この研究は２００８年度の平戸商工会議所のまちづくりの基礎資料として利用され、来年２月には長崎ピースミュージアムで展示が予定されている。



■『日本語における空間表現と移動表現の概念意味論的研究』

上野誠司著
（人間環境学部
環境文化学科
講師）

本書はアメリカの理論言語学者Ray Jackendoffによって提唱された概念意味論に立脚しつつ、幾つかの理論的修正と、意味を表示する「概念構造」の形式に関する、複数の適格性制約を新たに提案し、日本語の空間・移動表現の分析を通じて、それらの提案の妥当性を検証した。

■『ドイツ過去の克服～ナチ独裁に対する１９４５年以降の政治的・法的取り組み～（叢書ベリタス）』

小川保博、芝野由和
（共に工学部
共通教育センター
准教授）共訳

ヒトラー独裁の歴史は、終わったわけではなかった。それは今日まで続く、罪の克服と罪の抑圧の、葛藤のたえない歴史なのである。戦後ドイツにおける、ヒトラー独裁とその犯罪の諸結果との政治的・法的取り組みを解説。

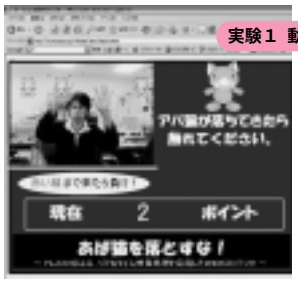
情報学部発行
「情報学部のツボ」

研究テーマ

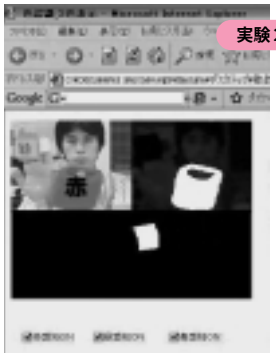
「Flash ActionScriptを用いたリアルタイム映像処理に関する研究」

吉田大介さん
（大学院工学研究科修士課程 電子情報学専攻 本年3月修了）

修士論文を発表する吉田さん



実験1 動体感知



実験2 色感知

実験3 ネットワーク通信の応用

Q. どのような研究ですか

近年、インターネット上におけるマルチメディアコンテンツの発展に大きく貢献した技術としてFlashが上げられる。

この研究は、Flashの新たな可能性として、Flash ActionScriptのBitmapData処理やループフレーム処理を用いて様々なリアルタイム映像処理を行う方法を検討し、サーバーサイドテクノロジーやこれらの技術を応用することで、ブラウザ上で動作する高度なリアルタイム対話型のWebコンテンツの実現を目指した。

Flashを利用するメリットは、Flash Playerの普及率が高く（インストール率95％以上）、ネットワークとの相性がよく、OSなどのプラットフォームに依存しないなどの特徴があり、Webカメラとインターネットに接続する環境さえあれば特別なシステムを必要としないことも特徴です。

Q. 研究のキッカケ

VR（バーチャルリアリティ）に興味があり、本学へ入学しました。工学部機械工学科（情報制御工学コース）における卒業研究は「三次元CGを用いた「Flash」によるダイナミックな擬似3DWebコンテンツの開発」というテーマで研究をしました。

その継続した研究の中で、Flashを使って新しい使い方ができないか、また、3D技術を組み合わせてみたいと思ったからです。

Q. この研究は今後どの様に生かされていきますか

今回の研究は、コンテンツの基礎技術についての研究で、技術の確立を行ったわけです。

他大学などで「3Dのミックス」や「ARToolKIT」の研究が進められています。

これらの技術や、アイデアで新しいものが作られていくと思いますので、この先は後輩たちに頑張ってもらいたいと思います。

博士学位授与

学位取得者 ブライアン・F・バークガフニ Braian・F・Burke-Gaffney氏

学位論文題目 「ウォーカー家の足跡調査にもとづく長崎居留地の通史的研究」

【概　要】 これまで、長崎外国人居留地に関する研究は、建築学的・経済的・政治的側面を強調する傾向があり、外国人の元居留者に関する足跡調査は少ない。本論文では、

学位取得者 ヒヨク ケンタロウ 比翼 謙太郎氏

学位論文題目 「造船におけるデジタルマニュファクチャリングの実用化に関する研究」

【概　要】 韓国の躍進や中国の台頭による競合と価格競争、高技能者の高齢化といった、わが国造船業が抱える問題を克服し、日本造船業がこれからも健全な競争力優位を維持し、発展し続けることを目的に、IT（情報技術）による「船づく

学位取得者 キタ ヒロシ 喜多 宏司氏

学位論文題目 「モジュール概念の船舶機関室設計への適用に関する研究」

【概　要】 我が国の造船業のベテラン設計者の加速度的な減少と、韓国、中国での造船業の躍進という現在の状況において、コストダウンや軽量化のみならず、品質向上、機能向上、納期短縮等につながる効果的な設計手法である〝モジュール化の設計手法〟の考え方について

学位取得者 セキグチ ヒロキ 関口 啓貴氏

学位論文題目 「CG空間内での移動における時空間の心理特性」

【概　要】 われわれは生活を通して空間（物理的空間）の中をあちこち動き回るが、その時われわれが感じる心理的な距離、速度、時間は物理的な距離、時間、速度と必ずしも一致しない。本論文では物理的空間内を移動した際の時空間の心理特性を視覚情報を変化させて調

学位取得者 サトウ コウイチ 佐藤 宏一氏

学位論文題目 「LNG船の長期耐用評価技術に関する研究」

【概　要】 日本は海に囲まれた海洋国家であり、造船業は輸送手段を確保する上で最も重要な産業の一つであるが、韓国、中国との競争において技術優位を維持することが必要である。日本造船業の強みを生かした今後の戦略として、解析技術、

日本の海運業に著しい貢献をし、尚長崎居留地の著名な住民だったウィルソン・ウォーカー（Wilson Walker）とロバート・N・ウォーカー（Robert・N・Walker）兄弟と彼等の子孫について、詳細にわたる履歴を記述することにより、この研究分野に人間的要素を加えた。さらに、19世紀後半から20世紀初頭の日本の近代化に、長崎居留地と居留者たちが果たした役割を明らかにし、太平洋戦争後に旧長崎居留地の建物等に関する情報と融合したこの個人データと人類学的情報を、歴史的建造物保存及び地域経済活性化のために、どのように利用できるかに関して考察した。

り改革」を重要な課題とした。この船づくり改革には、まず、生産の資源である、人・設備・モノを効率的に運用する努力であり、それにより蓄積されたさまざまな仕組みを、ネットワーク化されたコンピュータで統合し、一層の効率化を実現すること。

また、コア生産技術にITを組み込むことにより、ノウハウの暗黙知から形式知への変換を行い、データが一元管理された設計・製造プロセスを構築することが必要である。すなわち、これらのITを活用した生産の仕組みに関わる変革には、「デジタルマニュファクチャリングの実用化」が必須であると考え、この道筋を示し、この有効性を明らかにした。

述べるとともに、船舶の機関室設計への適用を検討・実用化した成果をまとめたものである。

船舶の機関室は、建造工作の難易度が高く、艤装に関する仕事量が多い。そのため、如何にして短期間に艤装作業を進めることが出来るかで、工期短縮の可否が決まる。また、近年は環境面から、次々と規制が強化されており、機関室に新たな機器を装備することが要求され、大きなスペースが必要になることから、機関室機器のコンパクト化が強く要望されている。

したがって、機関室設計にモジュール化を適用することは、新しい技術革新となり得る重要な課題である。

べたものである。その際、空間内での様々な条件を統制するため、CG空間を利用した。またCG空間内に入り込む感覚を出す移動映像では、経路脇に配置した物体の数（密度）を変化させ、密度が及ぼす時空間の各心理量への影響を心理実験により調べた。密度の高－低については、実空間における市街地－郊外、都市計画においての植樹の際の木々間隔、店舗における商品陳列の間隔などを想定している。

材料開発などの要素技術とともに、国内船主との関係を生かしたLCV（Life Cycle Value：生涯価値）向上技術、すなわち長期耐用技術による船舶の付加価値向上が一つの策として考えられる。

これらの背景から、高付加価値であり日本造船所の技術が生かし易い、独立タンク型LNG船（液化天然ガス運搬船）を対象に、LCV向上策について検討を行った。

《参考》
これらの学位論文は製本され、本学図書館、および国立国会図書館で閲覧することができます。

シンポジウム

「環境活動と地域づくり」開催

２月９日㈯、シンポジウム「環境活動と地域づくり」を人間環境学部の学生地域活動グループ「ＩＳＯの家」の主催で開催した。

会場はシーサイドキャンパス212教室。田上富久長崎市長、綾部健氏（橘小学校区自治会連合会会長）、野上敏子氏（長崎市宿町自治会会長）をパネラーとしてお迎えし、地域の方々や、学生、教職員が参加して、環境活動や地域づくりについて考えた。

司会の南里さん

■田上長崎市長講演

「環境活動を通した地域づくりに期待すること」と題して、『「地域づくり」はとても大事なテーマ。地域の中にはいろんな力があることが見直され、地域がもっと力を発揮しなければいけない時代になってきた。環境活動は、目に見えやすい活動でとても大きな意味がある』ことを阪神大震災や長崎の環境活動の具体例を紹介して講演した。

高山さん　田上市長　綾部氏　野上氏

■「ＩＳＯの家」地域活動グループ報告

人間環境学部環境文化学科４年の中村祥子さんがシーサイドキャンパスにおける環境管理活動や、宿町自治会と協働で行う、リサイクル資源回収活動など、「ＩＳＯの家」地域活動グループの活動について報告した。

■パネルディスカッション

人間環境学部環境文化学科３年の高山幸樹さんがコーディネーター。３人のパネラーにそれぞれの活動内容や課題、学生へ期待することなどに議論を交わした。

［意見の抜粋］

- **子ども達が大学で学び育って、その中で知的な財産がこの町に蓄えられていく。大学の存在をもう一度みんなで見直し、町の中にどうやって生かしていくかは私たち長崎市民にとって大事な問題だと思う。**
- **長崎の中で人と人、地域と地域、企業と行政など、いろんな繋がりを作っていくことがとても大事。長総大の活動は正にど真ん中に位置づけられる。その流れや方向をはっきりさせることがすごく大事です。**
- **「地域づくり」学生さんに関わってもらいたい。恐いもの知らずで、失敗してもやってみる。どんどん先駆けて思ったことを提案し、やってみる。**
- **もっとも大切な「あいさつ」をして下さい。今までせっかく日本人が築いてきた礼儀正しい、嘘をつかない、世界中に好かれる人間になって欲しい。**
- **学生さんとはお父さん、お母さん的な存在として家族的な付き合いができたらいいなと思っています。**

田上市長と「ISO の家」、宿町自治会員の記念撮影（写真上）　および懇談の様子（写真下）

【橘小学校区連合自治会】
- **■2006年12月NPO法人たちばなを設立**
- **■橘小学校区の地域内の住民相互及び近隣の公共的団体との連携の強化を図り、生活及び社会環境の整備とともに安全対策の推進に積極的に貢献し、地域住民の各種の高度な技術や優れた経営感覚をもった人的資源を集約し活用することによって地域の活性化を図り社会・文化の発展に寄与することを目的に活動している。**
- **■地域清掃、青色回転灯装着車両によるパトロール、古紙等の回収事業を行う**

【宿町自治会と「ISO の家」】
- **■人間環境学部の学生地域活動グループ「ISO の家」は宿町自治会の会員**
- **■宿町自治会と協働で地域清掃、古紙や廃油回収、携帯電話講習会などを行う**
- **■学園祭には宿町自治会の方々が企画参加した**

トピックス TOPICS

TOPICS ❶ 日本唯一の船舶工学科

本学工学部の船舶工学科が、日本唯一の船舶工学科として、長崎県が発行する広報誌『長崎県の日本一・世界一』の最新版（平成20年3月発行）に掲載された。

長崎県のホームページで紹介
http://www.pref.nagasaki.jp/koho/plaza/no 1/

TOPICS ❷ 初代バイオディーゼルバス「クリーンNiAS号」第四の人生へ

老朽化（走行距離約67万㎞）のため昨年3月から運転を休止し、佐賀県の老人福祉施設に譲渡することとなり、2月27日搬送された。

施設では入居者のゲートボール用具保管庫やクラブハウスとして使用される予定。

TOPICS ❸ 消防協力で長崎市長表彰

1月7日、長崎市消防出初式（長崎市消防局主催）において、本学が長崎市長表彰を受け、表彰状と盾が授与された。

これは、本学が永年にわたり、地元の消防団隊の訓練場所や、昨年からドクターヘリの離着陸場として大学グラウンドを提供しており、協力に対するもの。

TOPICS ❹ ◇全学FD講習会 ◇教育研究集会 ◇SD講演会

10月26日、平成19年度第1回全学FD講習会を開催。自己点検・評価運営委員会委員長の貴島勝郎氏が「認証評価についての全般的な説明」を行い、本学監事で元長崎県教育長の清浦義廣氏が「教育とは」と題して講演した。

12月20日、平成19年度教育研究集会を「退学者を減らす教育方法について」をテーマに開催。アンケートの結果や各方面からの報告を受け、学生の現状を確認すると共に、教育方法のあり方や手段、学生へのケアなどについて検討した。

11月29日、平成19年度第1回SD講演会を開催。本学監事が「生き残りから新たな発展への挑戦」～大学経営管理職員の重要性～と題して講演。

2月19・20日、第2回SD講演会を開催。本学の森本良一、山本一三両事務局次長が「私立大学・短期大学マネジメントセミナー」（日本私立学校振興・共済事業団主催）の報告、本学の財政状況等について報告した。

TOPICS ❺ 学術フロンティアセンター研究成果報告

3月29日、本学で、「第5回学術フロンティアセンター研究成果報告講演会」が開催された。

平成15年4月に文部科学省学術フロンティア推進事業の拠点として「学術フロンティアセンター」を設置し、「環境エネルギーの創出と高度利用技術の研究」をテーマに研究活動を展開。

今年度が事業の5ヵ年目に当たり、研究成果等を報告した。

TOPICS ❻ 奥村典男教授が地域発技術シーズ発表会で発表

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の2008年度「地域発技術シーズ発表会（大阪大会）」が1月31日、2月1日に開催。「シーズ発掘試験」の研究が評価され、本学工学部電気電子工学科の奥村典男教授が「固体高分子型燃料電池使用量の大幅低減に関する研究」をテーマに発表した。

TOPICS ❼ 加藤准教授の論文の図が学会誌の表紙を飾る

超伝導理論をはじめとする物性物理学の研究を行う本学大学院新技術創成研究所　加藤貴准教授の論文〝Intramolecularring current in (4n+2) π electronic states in the neutral acenes〟の図が、Synthetic Metals 誌（Elsevier Science）の表紙を飾る図に採用された。

TOPICS ❽ 蒲原新一講師と不動技研工業㈱が共同開発

本学人間環境学部環境文化学科の蒲原新一講師と不動技研工業㈱が共同で「3＋（スリープラス）システム」を開発し、12月20日の長崎新聞、1月21日の日刊工業新聞で紹介された。

これはハードウェア管理やITシステムの構築、セキュリティ対策などを行うITの総合的なサービス。

TOPICS ❾ LEDで「わさび」の栽培

電気電子工学科の辻史郎教授と学生「エコの会」は、LED（発光ダイオード）を使用した「わさび」栽培の研究をしている。わさびは環境に対して極めて敏感な作物で、直射日光を嫌い、きれいな水が常に流入する場所が栽培に適している。

辻教授らは、この環境を研究室に手作りで設け、LEDなどを使って栽培している。

TOPICS ⑩ 新入生歓迎行事を開催

4月12日、体育館及びシェスタ広場で、新1年生を迎えて、「新入生歓迎行事」（学生自治会主催）を賑やかに開催。部活動・サークルの紹介や新極真空手道部や空手部による演舞、音楽部による歓迎演奏、ビンゴゲームなどを行った。

TOPICS ⑪ 建築学科の学生 五島の教会群模型を展示（3月5日～31日）

長崎歴史文化博物館企画展ながさき地域シリーズ「五島の教会群」において、本学工学部建築学科の卒業生が製作した教会模型展示と同学科の村田明久教授と学生たちが製作した教会天井を再現展示した。

TOPICS ⑫ 建築学海外研修 ドイツ・パリへ（2月29日～3月10日）

工学部建築学科の学生と大学院生36名が、ドイツ・パリでの海外研修を実施。これは、同学科の科目「建築学海外研修」で、毎年実施しており、渡航費用の一部や研修期間中の傷害保険などの保険契約費を大学が補助している。

TOPICS ⑬ 就職・資格奨励金交付式

3月12日、就職・資格奨励金の交付式があり、工学部建築学科4年の山内圭輔さん、山崎健治さんが地方公務員警察官Ⅰ類に合格。また、工学部船舶工学科3年の久保山喬さんは海事代理士の試験に合格した。

学生の資格取得学習の支援及び就職活動の支援を目的として、昨年度より制度を創設し、活動を奨励している。

TOPICS ⑭ 小学生と本学留学生交流会

2月22日、本学近隣の日見小学校体育館で、同小学校3年生81名と本学留学生8名との交流会を開催。

これは同小学校の総合的学習の一環で、小学校側から本学に申し出があったもので毎年実施している。

TOPICS ⑮ 長崎県知事と学生意見交換会

1月15日、金子長崎県知事と学生との意見交換会を開催。長崎県の支援を受け、まちづくりなど地域活性化を目的とした「長崎県学生さんのまちおこし・地域づくり事業」で採択した6大学9事業の学生が参加。人間環境学部4年の中村祥子さんらがこの半年間の活動成果などを報告した。

TOPICS ⑯ 大学報奨金 後援会スポーツ振興賞

12月26日、新極真空手部に所属し、第22回九州交流空手道大会で、一般中級の部で第3位に輝いた情報学部知能情報学科2年の山本真寛さんと、九州水辺の映像祭で高原寛記念賞を受賞した大学院工学研究科電子情報学専攻1年の小柳聡也さん（本誌8頁で紹介）を表彰した。

TOPICS ⑰ 「長崎県地球温暖化防止キャンペーン」で本学学生が活躍

12月15日、長崎市のベルナード観光通りで開催。本学の学生がイベント実施やブース出展で活躍した。

長崎県が主催し、12月が地球温暖化防止月間にあたり、地球温暖化問題に対する理解を深めてもらうことが目的。

様々な団体が温暖化防止活動等に関する環境ブースを出展、パネル展示及びパンフレットの配布等による街頭キャンペーンを実施した。

TOPICS ⑱ 「N3 Style展覧会」学生が参加（1月20日～26日）

県産材を使った木工品づくりの展覧会「N3 Style展覧会」（長崎木と文化の研究会主催）を長崎県美術館アトリエで開催。

本学工学部建築学科と人間環境学部環境文化学科の学生のワークショップにより、長崎県林務課、家具・木工業の専門家、クラフトデザイナー等が参画し、共同でヒノキを使った子ども部屋や和室など6点を製作、展示した。

TOPICS ⑲ 大学の研究成果がまとめられる

大学における研究活動は、紀要や所報としてまとめられ公開。本学図書館に常設、Web配信しているものもあります。ご覧下さい。

右：平和文化研究所所報 第29集
左：情報科学センター所報 №17

Information

◇大学案内パンフレット まもなく完成

平成21年度入学生のためのパンフレットが5月に完成。

今回、雑誌風にし、ゼミや人にスポットをあて紹介。従来のカリキュラムなど学部・学科の内容は資料編に集約した。

◇オープンキャンパス

〈日時〉
①7月27日(日)
②9月23日(火)
③11月1日(土)
※10時30分～15時（受付 10時～）

〈場所〉
グリーンヒルキャンパス＆シーサイドキャンパス

〈内容〉
■模擬講義
■学部、学科紹介・見学
■学食体験（無料）
■進学相談会 ほか

〈その他〉
□来場者には特製のオリジナルグッズをプレゼント
□無料送迎バス（長崎市内ほか）を運行

http://nias.jp/opencampus/index-j.html

◇FAQ (Frequently Asked Questions)

大学に寄せられた質問の中で、頻繁に尋ねられる質問を8項目に分類し、ホームページで公開しました。

入試に関することや、どんな学部・学科があるのか、進路・就職などについて紹介している。

大学選択の際の参考にして下さい。

http://nias.jp/faq/index.html

◇造大愛唱歌集

本学の寮歌など愛唱歌を公開。「寮歌」「別離の歌」は歌詞と共に歌付きで視聴できる。

また、「覇者の道」「造大節」「応援小唄」「造大応援歌」は歌詞を紹介している。

楽曲を視聴する際は、Real Player や、Media Player など、マルチメディア再生ソフトが必要です。

http://www.nias.ac.jp/music/

2009年度学生募集要項

本学はアドミッションポリシー（P２、３参照）を打ち出し、入学生の募集を次の日程で行います。

詳細な内容、資料の請求は入試広報課までご連絡下さい。

■学部〔工学部・情報学部・人間環境学部〕

学部	学科〔コース〕	定員
工学部	船舶工学科〔造船技術コース、海洋フロンティアコース〕	35
	機械工学科	50
	電気電子工学科〔電気電子工学科、医療電子コース〕	50
	建築学科〔建築学科、住居学コース（女子のみ）〕	50
情報学部	知能情報学科	60
	経営情報学科	60
人間環境学部	環境文化学科	60

	推薦入試		
	前期		後期
	一般推薦	専門高校・総合学科推薦	一般推薦
出願期間	11月１日～11月11日		11月25日～12月９日
試験日	11月15日 長崎のみ 11月16日 長崎を含む全会場		12月13日
入試科目等	面接（個別）		面接（個別）
	小論文（出願時提出：600～800字）	自己推薦書（出願時提出：600～800字）	小論文（出願時提出：600～800字）
会場	長崎、佐世保、五島、対馬、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、岡山、大阪、名古屋、東京		長崎、福岡
受験料	30,000円		
合格発表	11月21日		12月19日

	AO入試			
	AO（双方向）入試	AO（特待生）入試		
		前期		後期
出願期間	９月１日～３月13日	９月１日～11月11日		12月１日～１月30日
試験日	随時	11月16日		２月６日
入試科目等	面接（個別）	面接（個別）		
	志望理由書（出願時提出：600～800字）	志望理由書（出願時提出：600～800字）		
会場	原則として本学	本学		
受験料	30,000円	30,000円		
合格発表	11月21日	２月14日	11月21日	２月14日
	12月19日	３月10日		
		３月19日		

	一般入試		センター試験利用入試	
	前期	後期	前期	後期
出願期間	１月７日～１月30日	２月16日～３月３日	１月７日～２月６日	２月23日～３月13日
試験日	２月５日 ２月６日	３月８日	－	－
入試科目等	２科目 ■１時間目 １．国　語（国語総合（古文、漢文を除く）） ２．理　科（物理Ⅰ＋Ⅱ、化学Ⅰ＋Ⅱ、生物Ⅰ＋Ⅱ） ■２時間目 ３．数学①（数Ⅰ＋数Ⅱ＋数Ａ＋数Ｂ） ４．数学②（数Ⅰ＋数Ａ） ■３時間目 ５．外国語（英Ⅰ＋英Ⅱ＋リーディング）		３科目 １．外国語（英、独、仏、中、韓） 英語のみリスニングテストを含む ２．地理歴史（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ３．数学①（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ） ４．数学②（数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、工、情報） ５．国　語（国語） ６．理科①（理科総合Ｂ、生物Ⅰ） ７．理科②（理科総合Ａ、化学Ⅰ） ８．理科③（物理Ⅰ、地学Ⅰ） ９．公　民（現社、倫理、政経）	２科目
	※学部・学科で入試科目や出題範囲が異なります。 詳細は、お問合せいただくか、大学のホームページでご確認ください。			
会場	長崎、佐世保、五島、対馬、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、岡山、大阪、名古屋、東京	長崎、鹿児島、福岡、松山、広島、大阪、名古屋、東京		
受験料	28,000円		13,000円	
合格発表	２月14日	３月13日	２月14日	３月19日

◇問合せ・資料請求先
長崎総合科学大学入試広報課
〒851－0193　長崎市網場町536　0120－801－253

編集後記

長崎市総合防災訓練に本学学生が参加協力し、取材に行った。ミャンマーや中国での自然大災害が起こった直後だけに、我々も日頃から災害発生への備えと防災への意識を高めておく必要性をより痛感した訓練だった。（T）

附高サッカー部は小嶺教授が総監督となり、コーチも新たに迎え、また、Vファーレンからの選手派遣による指導と、新たなスタートをきり、「全国」への期待が高まってくる。技術の面だけではなく、生活面からの指導は朝からの清掃活動や、挨拶からも伺える。（I）

このＱＲコードで
本学携帯電話ホームページにアクセスできます